



メトロ・ワールド・チャイルド

第26回 オペレーション・ホリデー・ホープ

**今年のクリスマスも、
多くの子どもたちに希望を届けていただくことができます！**

オペレーション・ホリデー・ホープはメトロの年間最大の伝道活動で、世界各地のメトロの拠点すべてで開催しています。昨年は、これまでで最大の人数の子どもにつながるという目標を設定しました。そしてあなたという友のお陰で、28万人を超える子どもとその家族がこの素晴らしい活動を通じて福音に触れ、参加した子どもたちは全員、一人一人特別なクリスマスプレゼントを受け

取ることができたのです。

食料品、お菓子が詰まった靴下、ラッピングされたプレゼント、暖かな靴…。オペレーション・ホリデー・ホープのプレゼントの一つ一つは、「どんなにつらい境遇にあっても、世界のどこかに自分のことを気にかけて祈ってくれている人がいる」という事実を子どもたちが思い出せる、愛の象徴です。



オペレーション・ホリデー・ホープとは…

メトロが開催するクリスマスの時期の教会学校に参加した子ども全員にプレゼントを渡す取り組みです。贈り物をもらったことなどほとんどないような貧しい家庭の子どもたちにとって、福音と共に小さな贈り物をもらうのは大きな価値があります！



[metroworldchild.jp/
ohh-usph-ch/](http://metroworldchild.jp/ohh-usph-ch/)

メトロ プレゼントを贈る



アメリカ・フィリピン クリスマスプレゼント！



詳細は同封の申し込み用紙でご確認ください！

スタッフ支援募集！

現地で奉仕するスタッフの伴走者を募集中！



今月号の目次

P2…アメリカ・フィリピン クリスマス！／

アメリカ クリスマスカード受付中！

P3～4…スタッフが見るスラム

P5…スタッフからの声／祈りの輪

P6…日本事務所からのお知らせ

アメリカ&フィリピン クリスマスプレゼント受付開始！

サポートしているアメリカおよびフィリピンの子どもへのクリスマスプレゼントを募集します。
同封のチラシで詳細をご確認いただき、日本事務所までお申込みください。
締切日がそれぞれ違いますので、ご注意ください。

アメリカの子どもへのプレゼントは、日本事務所に申し込む方法以外にも、アメリカ版 Amazon で購入した品物を送ったり、ご自分で用意した品物を直接現地に送ったりすることもできます。



アメリカのプレゼント送り先

(ご自分でプレゼントを購入し、国際郵便やネット通販を通して現地に送る方法)

Metro World Child

子どもの 名前・苗字(ローマ字で) USNY 番号

ご自分の 名前・苗字(ローマ字で) スポンサーID 番号

11 Harman St

Brooklyn, NY 11221

USA

アメリカのアマゾンで送る場合は、最後に出てくるメッセージ欄にご記入ください

ご自分で品物を用意される場合、必ずアメリカ本部にお送りください。

日本事務所では受付できません。

子どもの名前とご自分のお名前はローマ字でご入力ください。

USNY 番号やスポンサーID 番号がわからない場合は日本事務所にお問い合わせください。

フィリピンの子どもへのプレゼントは、直接現地に送ることはできません。通関時や配達途中で開封されたり、盗まれたりすることがあるため、全ての贈り物は現地で準備します。

同封のチラシやメトロのホームページをご参考に日本事務所までお申込みください。

なお、アメリカとフィリピンの**個別プレゼント**は、サポートいただいている子どもに直接届けられます。**オペレーション・ホリデー・ホープ**のお申込は、クリスマスの教会学校に参加した子どもたち全員にプレゼントを渡す活動のために使用されます。



←インターネットからのお申込みはこちら

メトロ プレゼントを贈る



metroworldchild.jp/ohh-usph-ch/

アメリカ クリスマスカード受付中！

子どもたちは手紙を受け取ると、スポンサーの方の存在をぐっと身近に感じることができます。英語か日本語で、サポートしているアメリカのお子さんにメッセージを書いて、日本事務所宛にお送りください。

〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1 教文館 6 階 T F C 内
メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

- 封筒…23,5cm x 12cm x 1cm 重さ 25g 以内(手紙含)
- ヘアアクセサリやシール、写真などのプレゼントは同封可！
- 11月17日(水)日本事務所必着

スタッフが見るスラム

数か月に渡ってこのシリーズをお届けしています。

今回は、ケニアとフィリピンについて、もう少しお話しします。どうか、子どもたちのためにお祈りください。

ケニアスタッフ:ジェニン・ステラトス

《ケニア》

スラムが子どもたちにもたらす問題とは、劣悪な生活環境(水道がないことやひどい住居など)はもちろんのこと、暴力や犯罪です。幼い子どもたちを仲間にして麻薬の売人に仕立て上げようとするギャングたちが、子どもたちの周りにはいるのです。


また、スラムで育つ子どもたちは病気などにかかる確率も高く、きちんと毎日学校に通えずに一般教育を受ける機会を逃してしまうことも多いのです。そのためスラムから学校に通う子どもたちの学校の成績は下がる一方で、中退してしまう割合もかなり高くなってしまいます。そうして、スラムの子どもたちは、その両親たちと同じように、一生日雇い労働者として生きていくのです。

メトロ・ケニアが教会学校を行っている小学校には、スラムに住む子どもたちがたくさん通っています。そして、メトロのスポンサーがついた子どもたちは毎日学校に通い、学校で温かい給食を食べることができています。

給食を毎日食べられるということは、1日に必ず1度はごはんが食べられるということです。貧しい両親にとって、毎日食事を用意することがままならないことや、給食費が払えないことも少なくありません。しかし腹ぺこでは、子どもが勉強に集中できるはずがありません。給食を食べることができれば、子どもたちは勉強に集中できるのです。



メトロ・ワールド・チャイルド・ケニアの紹介動画をご覧ください！

台湾の「HEROES」という人気番組が、2019年にメトロ・ワールド・チャイルド・ケニアの働きの様子取材した動画です。動画内に英語と中国語の字幕が出ていますが、字幕追加ボタン  をクリックしていただくと日本語の字幕が表示されます。動画の長さは、およそ11分です。

<https://www.youtube.com/watch?v=TkkbrRX5QoI>



フィリピンスタッフ:ハンナ・ロビンズ

《フィリピン》

「貧しい人に魚をあげるだけでなく、釣り方を教えよ」という言葉があります。これは素晴らしい考え方ですが、私はフィリピンで過ごすうちに、学んだことがあります。それは、「貧しい人を養いたいのなら、魚を与えるな」ということです。

釣り方を教えるだけでは不十分なのです。どうして釣りをしなければならないのかを知る必要があります。人には、目的が大切です。神様も、目的と目的を持つ必要性をもって人を創造しました。そして、人に本当の目的を与えることができるお方は、イエス様ただおひとりです。

ですから、メトロはスラム街の人々にまず福音を伝えなくてはなりません。彼らにお金を与えても、彼らの考え方自体が貧困を生む要因ならば、受け取ったお金をどう使うべきかが分からないのです。まず初めに、心を変えてくださる神であるイエス様によ



って心を癒し、変えていただく必要があります。そうしてようやく、「釣り方を教え」られるのです。

福音を伝えた後で、人々に必要なものは食べ物です。生きていくことが最優先事項です。飢えている子ども

がないことを願いますが、現実には、スラム街の多くの子どもたちは飢えています。多くの家庭で、子どもたちは1日に1食、または2食しか食べることができません。私が知る限り、スラム街の子どものうち、きょうだいの中で年長の子の多くは、中学や高校を中退して両親の「働き」を助けようとしています。下のきょうだいたちを食べさせていくためです。繰り返しになりますが、これが、何世代にもわたって貧困が続いていく理由の1つです。

福音を届け、飢えをしのいだ後で、彼らに必要なことは、教育を受けさせることです。事実、彼らをスラムから脱却させる方法は教育しかありません。教育を受けていなければ、まっとうな仕事に就くことはできませんし、仕事がなければ、彼らは最低賃金さえ稼ぐことができず、きちんと家賃を支払って家を借り、家族を養うこともできません。

メトロでは、教会学校のプログラムとスポンサー



ゴミ捨て場に隣接する貧困者用住宅。このゴミの中からお金になりそうなものを1日中探して回るのが仕事という親も多い

制度を通して、「福音」「食事」「教育」の3つを満たすことができるのです。私たちは毎週の教会学校で子どもたちにイエス様のことを伝え、生きる目的を知らせます。そして、スポンサーの皆さんのご支援によって教会学校の後には子どもたちに食事を配給することができます。現在はコロナウイルスの感染対策として子どもたちは外出できず、残念ながら多くの子どもたちを集めての教会学校は禁止されているため、家庭訪問やオンラインで集会などを行っています。食料は、スタッフが各家庭に届けています。また、感謝なことに一部の子どもたちは、スポンサーの方々からの学習支援や奨学金支援によって、安心して学校に通うことができます。

メトロが関わる全ての子どもたちが、メトロの働きを通してスラムから脱却できると言いたいところですが、残念ながら現実とは違います。しかしそれでも、メトロが関わる100%の子どもたちが福音を聞き、救いの機会が与えられていることは確かです。そして、サポートを受けている子どもの多くは成長した後、家族を助けるための仕事に就くことができます。

外から見ると、大した影響には見えないかもしれませんが、家族が毎日食事をできるように支援を行っていることは、スラム街に暮らす家族にとっては、大きな意味を持っています。家族を養えるかどうか、彼らにとって大きな問題だからです。



メトロ・フィリピンの教会学校 (2019年の写真)

メトロのスタッフからの声

エディ・マルティネス

エディはこのメトロの働きに本当に力を注いでいます！ 1970年代、まだ彼が子どもの時にプエルトリコからブルックリンに引っ越してきたエディは、公営住宅付近で茶色のバスが子どもたちを乗せていく様子を見て、興味を持つようになりました。ある土曜日、エディと彼の友だちは自転車でメトロの教会学校のバスの後を5キロ近くも追いかけて、メトロの建物にたどり着いたのです！

その後すぐにエディを含む幾人かが、人生が一変するイエス様との出会いを経験しました。エディはメトロでボランティアをするようになったある夜のことを鮮明に覚えています。なんと、子どもの父親が礼拝のあとエディに近寄ってきて、彼の顔に銃を向けたのです。「ビル先生が私と銃の間に入って来て、中に入りなさいと言ったのです。ビル先生がその場を収めてくれました。その時のことを私は絶対に忘れません、そして永遠に感謝し続けています」。

現在エディは、メトロの車両のメンテナンス部門を任されています。彼の妻であるプリンセスは、19年前にジャマイカから伝道師としてニューヨークにやってきました。夫婦の間には神様と奉仕が大好きな10代の2人の子供がいます。去年の感謝祭には、5000人のニューヨークの人々のための食事を用意する場でも、エディと彼の家族は奉仕をしていました。「私は奉仕をすることが大好きです。情熱こそがすべてであり、その情熱が、誰かを助けに行ったり、車を走らせたりするように私を突き動かすのです」。

ですから、私たちはキリストを通して、賛美のいけにえ、すなわち御名をたたえるくちびるの果実を、神に絶えずささげようではありませんか。善を行なうことと、持ち物を人に分けることを怠ってはいけません。神はこのようないけにえを喜ばれるからです。

へブル人への手紙 13:15-16



Run With One ! メトロの現地スタッフ支援

- スタッフひとり毎月 5,000 円以上
- 単発支援献金もできます

伴走者として、メトロのスタッフを励ます存在となってください。



お申込みページ

祈りの輪

あなたの祈りが変化をもたらします！
私たちと共にお祈りください…

- 世界中でまだコロナの影響を受けて苦しんでいるメトロの子どもたちやその家族、またスタッフの健康と安全のためにお祈りください。
- 食事、住まい、仕事のチャンスなど、神様の導きにより全ての必要が満たされますように。
- 伝道活動が試練の中にあっても、引き続き効果的な働きができますように。
- 新しい扉が開かれ、環境の違う中にあっても創造力豊かなやり方で人々に接することができますように。
- ビル先生が神様からの力で守られ、先生の語る言葉を聖別し、安全が守られますように。

メトロのPRページを ご活用ください！

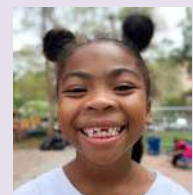


<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>

メトロはどんな働きをしているの？

教会学校は
役立っているの？

ビル先生って
どんな人？



スポンサーの方より
「メトロの必要性が分かりやすい」
というお声をいただいております！